



(様式第1号)

平成 28 月 5 月 25 日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領域名： ②医療に関する領域

科目名： ②-3 疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅲ

単位数： 2 単位

認証申請する研修の名称： 認定介護福祉士養成研修

団体名： 公益社団法人長野県介護福祉士会

団体事務所の所在地： 〒 380-0928

長野県長野市若里 7-1-7

電話： 026-223-6670

FAX： 026-223-6679

E-mail： sakai@kaigo-nagano.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：(公社)長野県介護福祉士会

会長 畠山仁美 

申請責任者： 酒井 良育 

記

○認定介護福祉士認定研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	医療に関する領域	
科目名	疾患・障害者等のある人への生活支援・連携Ⅲ	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	日常によくある疾患だけでなく、対応する頻度が少ない疾患や障害等を含めて、高齢者・障害者の疾患・障害等についての医学的知識を用いて、生活支援、連携、介護職への指導を実践できるようにする	
到達目標	<p>①高齢者・障害者の疾患・障害等について、機序、症状、治療法・薬理作用等を理解し、説明できる。</p> <p>②症状から利用者の状態を分析し、医療の必要性について判断することができる。</p> <p>③介護職への指導を行うための疾患や障害等に応じた生活支援について理解し、実践できる。</p> <p>④利用者の人生の最終段階における生活支援に関する医療的知識を学ぶとともに、生活支援（介護職）の役割を理解し、他者に説明できる。</p>	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<p>①高齢者・障害者の疾患・障害等</p> <p>（日常によくある疾患だけでなく、対応する頻度は少ないが学習しておくことが重要なもの）</p> <p>発生等の機序、症状、治療、看護、薬の知識、アセスメント、生活支援の留意点・観察のポイント等</p> <p>・難病、特定疾病の知識とその対応</p> <p>・人工呼吸器の取扱い上の留意点</p> <p>・他職種との連携や確認のポイント等</p> <p>・高齢者・障害者の疾患・障害等に応じた生活支援</p> <p>②先天性障害・乳幼児期からの障害（ポリオ等）、認知症以外の精神障害、神経難病、術後管理等</p> <p>・出現している症状から原因を理解する事例、症状が重複している事例</p> <p>③介護チームへの指導教育</p> <p>④人生の最終段階における支援</p> <p>・介護職の役割</p> <p>・家族の心理と家族支援</p> <p>・がんの理解と対応、がんの4</p>	<p>○事前課題①（3時間）</p> <p>厚生労働省による特定疾患及び難病について、A4用紙1枚程度にまとめてレポートする。</p> <p>○講義①（4時間）</p> <p>介護施設や在宅介護で生活支援や継続して医療支援をうける疾患を中心に理解する。必要とされる医療機器について理解する。特に症状や病状の把握と情報共有の大事さを理解する。</p> <p>○事前課題②（3時間）</p> <p>ICF（国際生活機能分類）の意図するところを学習して、A4用紙1枚にまとめて提出する。</p> <p>○講義とグループワーク②（4時間）</p> <p>先天性障害者であれ、疾患による障害者に対して、低下した能力の支援を通じて、本人の自立を尊重することを理解する。</p> <p>先天性障害・乳幼児期からの障害における発達と病児保育等について理解する。</p> <p>●理解度評価筆記テスト（①②）20問（1.5時間）</p> <p>○事前課題③（3時間）</p> <p>介護チームで新人や部下に教育を行うときに感じる課題があれば、A4用紙1枚にまとめて提出。</p> <p>○講義とグループワーク③（3時間）</p> <p>疾患・障害の理解を深めるために出来る研修体制を考える。多職種で行うケースカンファレンスの重要性。</p> <p>○事前課題④（3時間）</p> <p>緩和ケアにおける「四つの苦痛」を調べて、介護福祉士としての関わりの可能性について、A4用紙2枚以内に記述して提出すること。</p> <p>○講義とグループワーク④（4時間）</p> <p>人生最後の場所が在宅より病院や施設の場合が多くなっている。医療職や介護職の役割と連携して関わることの重要性を理解する。</p> <p>●理解度評価筆記テスト（③④）30問（1.5時間）</p>

	<p>つの苦痛に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーフケア、意思決定支援 ・必要な医療的知識と連携 ・麻薬や睡眠剤の作用、 ・副作用の基礎的な知識 ・疾病・障害の機序、症状、 ・診断・各種の治療法、 	
研修方法	<p>■集合研修</p> <p>■課題学習</p> <hr/> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。</p> <p>○課題学習は事前課題として、レポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>	
研修時間	30 時間（集合研修 18 時間、課題学習 12 時間）	
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計 30 分（遅刻、早退それぞれ 15 分）を上限として認める。（レポート課題なし）1 日のプログラムのうち、始めの 30 分を超える遅刻、終わりの 30 分を超える早退であって 120 分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。120 分を超える遅刻、早退の場合は、ビデオ学習による補講を行ったうえでレポート課題を提出するものとする。また、各コマにおいて合計 15 分以上の離席があった場合には講義・演習の内容を補うレポート課題を提出するものとする。</p> <p>○修了評価として行う筆記試験（50 問程度）において、A～C 評価（100 点満点中 60 点以上）であること。D 評価（59 点以下）の場合は、再試験を行い、A～C 評価とならなければならない。なお、再試験は複数回の受験を可能とする。</p>	
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 ・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 	
(2) 受講者について		
受講対象（受講要件）	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有する者であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「認定介護福祉士概論」を修了していること。 ・「疾患・障害者等のある人への生活支援・連携Ⅱ」を修了していること。 	
修了評価	<p>筆記試験（50 問程度）により行い、100 点～80 点を A 評価、79 点～70 点を B 評価、69 点～60 点を C 評価、59 点以下を D 評価とする。A～C 評価（100 点満点中 60 点以上）で修了とする。</p>	
(3) 研修の環境条件		
定員（講師の配置基準）	30 名（講師 1 名）演習時も同じ講師で行う。	
開催場所（都道府県）	JA 長野県ビル（長野県長野市）	

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成 30 年 5 月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 長野県長野市 JA 長野県ビル
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	担当する講義等 疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅲ
	盛岡正博 氏 学校法人佐久学園理事長・医師 前長野県厚生農業協同組合連合会理事長 元長野厚生連佐久総合病院副院長、湘南鎌倉病院開設院長 米国ボストン小児病院客員研究員、佐久大学講座「生命倫理」、佐久大学信州短期大学部講座「障害者の理解」
	担当する講義等 修了評価 盛岡正博 氏 (学校法人佐久学園理事長) 履歴等は同上
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	研修委員会 (非常勤: 17 名) 事務局 (担当事務局員、常勤: 4 名) 研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連関や留意点について共有する。 また、できる限り研修委員会の委員が研修を見学し、研修内容を評価するとともに、随時、研修の見直しを図る。
研修の企画運営に関する諸規程	研修委員会設置要綱
研修管理責任者職名	副会長
研修管理責任者氏名	原千香子
機構問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	酒井良育
機構問合先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
機構問合先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
受講問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
受講問合先担当者氏名	酒井良育
受講問合先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
受講問合先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
(4) 研修履歴の管理体制	

受講者への付与単位部門	長野県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○外付けディスクにバックアップデータを保管する。 ○データ保存期間は10年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。 ○個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、会長名による修了証書を発行する。
管理責任者氏名	土屋一都(事務局長)
管理担当者氏名	酒井良育(担当の常勤職員)